

秋出しストックの栽培暦(直まき)

	6			7			8			9			10			11			12			1			2			3			品種 雪波・朝波 アイアンシリーズ <スプレイ> カレットシリーズ
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
春出し栽培	8/10 -----																														
	8/20 -----																														
	注) : 播種 : 開花																														

栽培のポイント

- ・ストックは八重と一重が混ざっており、おおむね半分が八重。
- ・通常は八重が好まれるため、育苗中に八重鑑別を行い、八重株を残して定植する。
- ・コナガがつきやすいので防除を徹底する。
- ・冬季間の菌核病、灰色かび病など病害の発生予防。
- ・最低温度5 と日中20 以下の確保。

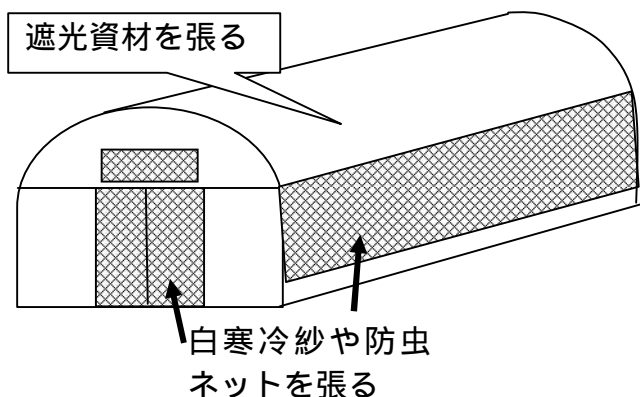


1 は種準備

<ハウス準備>

コナガ予防のため、開放部(サイド、妻面)に白寒冷紗#300を張る。

は種3日以上前から遮光率30~50%の遮光資材を張り、地温を下げる。



<土壌消毒>

立ち枯れ病等の土壌病害虫防除と雑草防除のためにダゾメット剤等で行う。

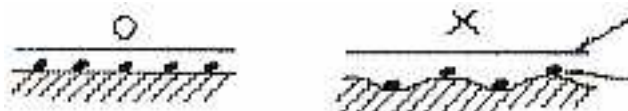
施肥例(10aあたり)

基肥	0kg 100	110kg
	有機&I付	60kg
	(苦土重焼燐	20kg)
	苦土石灰	pH に応じて
追肥	有機&I付	30~60kg

2 は種

重要なポイント

は場はできるだけ均平にし、覆土を均一にする。発芽を揃えることが八重鑑別成功のポイント。



栽植密度 条間15cm x 株間15cm、6~8条植え。

<温度管理>

発芽適温: 20~25 (暑いと発芽不良)

発芽日数: 3日

ハウス換気の徹底: 通風良くして涼しく管理

遮光: は種後10日程度。温度低下、乾燥防止のため

<水管理>

・は種~発芽: 乾かさないうにかん水。

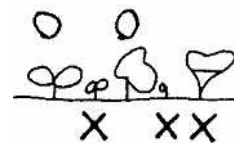
・子葉展開~定植: 晴天時は1日1~2回かん水。

夕方には地表面が乾く程度にする。

3 八重鑑別

<1回目> 予備鑑別

発芽揃い(は種後7~10日)頃、発芽が遅れたものを間引く。ラッパ葉を間引く。



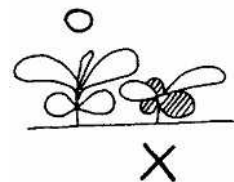
<2回目> 本鑑別

は種12~20日後。本葉が見える頃。

子葉が大きい  
子葉の色がやや淡い  
胚軸が伸びている

八重株を  
1本残す

少し徒長したような苗



4 その他の管理

<追肥>

定植2~3週間後ころ10坪あたり1~2kg追肥し、条間を軽く中耕する。

<フワネットの設置>

草丈20cmくらいまでに15cm x 15cmのネットを設置する。

<水管理>

・活着~発らい前: 十分にかん水し、草丈確保。

・水切り: 発らいを始めたらかん水は控えていく。

冬季間乾きすぎると晴れた日に軽くかん水する

<温度管理> 最低温度の管理目標: 3~5

十分に換気を図る。

外気温が5 を下回る11月下旬から保温を開始する。

<その他>

スプレイの品種は頂花を摘心する。



5 病虫害防除

コナガ、ハモグリバエなどに注意

10月上旬までは防除を徹底する。